

福祉活動の取組を振り返って

小嶺地区 福祉代表 松田 聡

今年度は、福祉活動を行うに当たり、新型コロナウイルス感染症の影響を除いて語ることはできません。



昨年度に予定されていた八児市民センターの40周年記念行事は中止となり、福祉活動においても大きな影響がありました。

まずは、地域の協力員さんとの打ち合わせを集まって行うかどうかについても頭を悩ませ、さらには「高齢の皆さんへの日常の訪問活動も、普段は対面して近況などを話すなどしていた活動をドア越しの会話で済ませるなどしながら対応を行っています。

九月の敬老会については、公民館で食事しながら、歌や踊りの披露などで笑顔の中、楽しいひと時を過ごしていましたが、三密を回避するため、今回はやむなく記念品とお手紙の配布で対応いたしました。このように、今までのような福祉活動をできる状況にはなく苦労しながらの一年間でしたが、これからも新型コロナウイルスとの闘いは続くものと思っています。

その中で地域の福祉活動をどのように行っていくかは、関係する皆さんとよく話をしながら、できる限りのことを続けていきたいと考えています。

福祉活動の取組を振り返って

小嶺台地区 福祉代表 衛藤 忠幸

本年度は、コロナ禍の中での活動としてほとんどのイベントが中止になりました。四月の総会中止に始まり、各種の清掃活動、夏祭り、盆踊り、敬老会（記念品配布532名分）、歩こう会、一人暮らしお楽しみ会（記念品配布122名分）、どんど焼き（規模縮小）、区会文化祭など大きなイベントは中止や縮小となり従来のやり方と違った考え方で対応しました。特に敬老会と一人暮らしお楽しみ会については、イベントは中止しましたが、対象の方々に記念品をお渡しすることとなり、敬老会には、75歳以上の方へ記念品としてお茶のセットをまた、一人暮らしお楽しみ会は、75歳以上の一人暮らしの方へ洋菓子セットを配布しました。

本年はコロナ禍の中で各種イベントが中止となり残念です。来年は、新型コロナウイルスに負けず、みなさんで自治会の運営に協力し、新しいイベントにチャレンジしましょう。



【民生委員と福祉協力員と記念撮影】



八児社協ふれあい健康体操

代表 早川 幸子



八児市民センターでの「八児社協ふれあい健康体操」は発足して十年以上になります。故寺島会長の「寝たきり予防」「寝たきりをなくそう」のよびかけで始まりました。

年を取っても自分の事は自分でしよう！そして、いつまでも元気になりたいの思いで「ストレッチ体操」「リズム体操」等参加者全員が楽しく元気にやっています。今でも三十数名の方が参加されています。

現在、「コロナ禍の中、「消毒」、「マスクの着用」、「窓の開放」、「三密」、「人数制限」（二部制）等感染対策をしっかりと取りながら、活動を行っております。第2第4火曜日の13時半から15時まで市民センターまた、小嶺団地集会所、大原団地集会所でもやっております。

これから先、今まで通りの活動ができるか分かりませんが、皆さんと一緒に頑張ろうと思っています。お気軽に見学にいらしてください。



【みんなで呼吸を揃えて健康体操】

八児老人クラブ連合会

女性部の活動について

八児老連会長 山之上 常實



感染症拡大により、日常生活が変化し、八児老連クラブも巣籠もりを余儀なくされ、「フレイル」予防で頑張っています。

八児老連約370名の半数以上は女性会員で、本年六月豊田女性部長より八児全クラブに「女性代表」の選出が必要ではないかとの意見が出され、この案に全会長が賛同し、11月6日に女性部の第一回研修会が開催されました。テーマは「とびつめ@きたきゆう」で会員が「もしも」の時「あなたはだれ・連絡先は・かかりつけ医は」などの質問に対しこの事業に加入し、「登録カード」を作成することで情報をいち早く確認し、適切に診察に役立てるもので、市民センターには多数の申込みが始まっています。

第二回の研修として百歳まで元気に「フレイル予防の積極的活動」を予定しています。これからも八児老連女性部の更なる活動を期待し、元気な八児老連の構築をめざし努力いたします。

（寄付をありがとうございました）（香典返し）

【故人】 【遺族】

川崎 照光 様	川崎 智子 様	（大平）
川元 眞實 様	川元 数枝 様	（町上津役）
茅島セツエ 様	茅島 研一 様	（町上津役）
児島ユリ子 様	児島 未代 様	（町上津役）
坂口 覺 様	坂口 弘子 様	（町上津役）
宝代 政市 様	宝代 康子 様	（町上津役）

令和元年10月から令和2年11月受付分まで